

寄せられた意見

No. 177

| | | | | |
|-----|------------------|----|-------------|-----|
| 受付日 | H18.10.26 | 年齢 | 居住地 市町村名 | 名寄市 |
| 件名 | 出水による被害を目的の当社にして | | | |

出水による被害を目的の当社にして

先人たちは、天塩川・名寄川に囲まれたこの川の街名寄を水害に負けないように治水事業を施し北海道の中心の町として発展させてきてくれました。そして、今我々は子供たちに名寄を受け継いでいかなければなりません。

一般の水害からもわかるように、私たちは両河川に対して注意を払わなければならないと実感したところです。両河川は当日まで今まで見たことのない大洪水状態であったのはごらんのとおりであります。私も、当日の朝に報道されている天気予報から川の状況を見に行きました。両河川は若干の増水は見受けられてはいましたが、大洪水の油断もありこれくらい降雨では、災害には発展しないだろうと思っていました。ところが刻々と時間がたつにつれ両河川の状況が比較にならないほど変わってゆくのを実感しました。天塩川の様子と、名寄川の様子が全然違うのです。どういふことかという、天塩川の流れは増水はしているものそれほど緊迫したものではありませんでした。ところが、名寄川の状態はそうではないのです。増水の度合いが天塩川とは比べ物にならないほど緊迫しているのです。昔から、川が好きで釣りや・キャンプを両河川で経験してきた私にとって始めてみる光景でした。濁水のため名寄川上流から天塩川の合流点まで行けず川の中をカヌーを苦労して引きずり回す経験は何度もありましたがその状況と今回はまったく逆なのです。原因は、あとでわかったことなのですが名寄川上流域で局地的に降った雨の為でした。私は、自然の沢山残るサンル川も大切ですし、名寄も大好きです。ダム建設には中間的なシステムで見えていますが、名寄川のある濁流を見て、水の怖さを改めて感じるにつれ、やはり子供たちに安全で安心な名寄地域を受け継いで行くためにはダム建設を一刻も早く実現しなければならぬと一市民として思います。

そして、先人たちから受け継いだこの地域を現在この地域を守らなければならぬ親の立場で子供たちに受け継がせなければなりません。是非そんな意味からダム早期実現を願うものです。

2006年10月26日

名寄市

※ 箇所は、個人情報等に該当するため黒塗りしています